2021-2022
いわき平中央ロータリークラブ週報

Rotary　奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

■事務所／〒970-8026 福島県いわき市平字白銀町4-1
不二屋第二ビル 2F TEL&FAX0246-25-3000
■例会場／〒970-8026 福島県いわき市平字田町 1-1
いわきワシントンホテル椿山荘 TEL0246-35-3373
■例会日／金曜日 12:30～13:30

クラブテーマ　持続可能なロータリークラブ活動、30 周年へ向けて
いわき平中央ロータリークラブの想いの継承と DX への変化対応

2021 年 10月 22日（金）　第 1341回（年度第14回）

今日のプログラム

○ガバナー公式訪問／クラブ協議会
○開会点鐘
○ソング／我らの生業
○四つのテスト／相馬京会員
○会長挨拶
○幹事報告
○ゲスト卓話／志賀利彦ガバナー
○閉会点鐘

出席 & スマイル

ご協力ありがとうございます♪

○出席
20名　64.5%
ゲスト5名

○スマイル
18名 31,000 円

その第一歩は、クラブ奉仕であり、ガバナーが述べられている通り、クラブ奉仕は例会出席から始まります。
アフターコロナでもデジタルの流れは変わらないと思います。次につなげていく持続可能なロータリークラブとして、リアルを大事にしながらデジタルも併用していければと思います。その一つがいわき平中央ロータリークラブのホームページ作成です。イノベーションは突然現れます。「ロータリーの心と原点」を大事にしながら、デジタルとサービス（奉仕）を融合しながら平中央ロータリークラブを進めればと思います。

1 会長挨拶

本日は志賀ガバナー、蛭田地区幹事、阿部ガバナー補佐、八幡分区幹事、いわき平中央ロータリークラブへようこそ、心より歓迎申し上げます。
いわき分区のガバナーをお迎えするときに会長の任を受け大変光栄に思います。また、コロナ禍の中での運営、公式訪問に感謝申し上げます。
私はロータリー歴が浅い中での会長を務めさせていただいております。そんな中、敬愛する先輩ロータリアンの横山さんより一冊の本を先月渡されました。「ロータリーの心と原点」第2700地区、廣畑富雄PGが上梓された本です。副題にBack to Basics「基本に返ろう」です。もっとロータリーを理解し勉強しなさいといただいたと思います。シェカール・メータRI会長の掲げる「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために」をもとに志賀ガバナーが活動方針の中で伝えている「ロータリーは例会に始まり例会に終わる」と発信しております。
「ロータリーの心と原点」の中で、会社には社是があり社訓があり、人徳と同じで社徳があると思います。
ロータリークラブにも団体徳があると思います。いわき平中央ロータリークラブの団体徳も作られてきたと感じています。本には創業者の精神が述べられています。
ロータリーは1905年、ポール・ハリスによってはじまりました。たった4人で始まったロータリーが120万人の会員を持つ組織になりました。今年は130万人を全世界で目標としております。また本の中で、ロータリーの基本は友情とサービス（奉仕）とうたっています。シェルドンのサービスは、邦訳の奉仕より概念が広く、人の為になる行為全体を奉仕として指しています。

2 幹事報告

1. 本日は志賀利彦ガバナーの公式訪問です。
2. 各RCより広報紙が何点か来ています。回覧下さい。

3 スマイル

●志賀利彦ガバナー／本日はよろしくお願いいたします。
●阿部弘行いわき分区ガバナー補佐／志賀ガバナーの公式訪問もいよいよ最終コーナーとなりました。残り数クラブ秒読み開始ですね。
●小澤准一会長　●大平守彦幹事　●鈴木喬二会員
●猪狩正明会員　●高橋孝光会員　●田久政次郎会員
●木内弘道会員　●横山利雄会員　●松本三智代会員
●清水良祐会員　●鈴木一永会員　●青木喜三郎会員
●鈴木清友会員　●郡二三子さん／志賀ガバナー、蛭田地区幹事、阿部ガバナー補佐、八幡分区幹事の来訪を心より歓迎いたします。本日はよろしくお願い申し上げます。
●曽我泉美会員／志賀ガバナーとは2018-19年度同期会長でした。お久しぶりにお会いできて嬉しかったです。今後もお身体に気をつけて頑張って下さい。
●相馬京会員／ご無沙汰しております。宜しくお願いします。
●今野建男会員／今日は今年一番の寒さです。体調管理に気をつけましょう。

ガバナー公式訪問・クラブ協議会が開催されました!!

志賀利彦ガバナーを囲んで出席者全員で記念撮影

志賀利彦ガバナー、蛭田地区幹事、阿部ガバナー補佐、八幡分区幹事をお迎えし、「会場の密」を避けながら「内容は密！」でのクラブ協議会が行われました。

委員長より活動目標の発表を行った後、志賀ガバナーより大変わかりやすい感想とアドバイスをいただきました。

会長挨拶/小澤准一会長

進行/大平守彦幹事

志賀利彦ガバナー
ガバナー卓話

私の父親は農家の次男として生まれ、代用教員の仕事に就き、県内各地を転々とし、最終的にはいわきで電気工事業を立ち上げました。私は次男ですが、家業を継ぎました。

兄が勤めている日立製作所の工事を受注することができ、今では鉄塔など超高圧の工事を請け負っています。

私の長男は生まれた時にへその緒が首に絡まり、仮死状態で生まれたため、体に障がいを持っています。

そんな中、私は小・中学校とPTA会長を務め、中3の時は連合会長となりました。学校教育に接する中で様々な疑問を抱き、また、福島県は47都道府県の中で成績が下から数えて3～4番目という現状を見て、筑波市にあるつくば秀英学園との出会いもあり、自分で学校を造りたいと思ったのです。

自分なりに勉強をしながら、県の教育委員会に学校建設の計画を話しに来ました。「これから少子化を迎えるのに、造ってもらっては困る。どうしても造りたいなら、生徒が集まる証明を出しなさい」と言われました。何度も通い、何度も資料を作り、5年が経ちました。6年目になり、今年だめだったら諦めようと覚悟を決めますが、2000年にやっとのことで、許可が下り、2001年4月に学校法人いわき秀英学園を開校することができました。

当時で40億の建物を公金無しで造ったのです。20年越しで借金を返済し、新たに今回、造ったのが地区大会で利用していただいた講堂です。開校日、集まった生徒は51名でした。野球部もない、大学進学だけを目標とする学校ですが、昨年まで現役で東大合格者を輩出、今年は福島医大医学部は5名、医学部関係だけでも20数名が合格しました。

最後にお伝えしたいのは、私には決して能力があって学校建設ができたとは思っておりません。では、なぜできたか。それは、たくさんの人との出会いがあったからです。出会いを大切にしたから、今の私があると心から感謝している次第です。これからのロータリーの関わりも同じです。今後、第2530地区が少しでも良い方向に進めるよう、私も精一杯頑張っていきたいと思います。